

The Championship of Robotics Engineers

優秀プロジェクトマネージャー賞 応募シート

チーム名：TKG (Tou-Kai-Group)

プロジェクトマネージャー氏名：佐藤 郁弥

本文書では、佐藤 郁弥が優秀プロジェクトマネージャー賞にふさわしい理由を説明する。なお、審査基準ルブリックに該当する項目は青字の下線部(1)～(8)で示す。
評価項目1での例: [test\(1\)](#)

1. プロジェクトマネージャーによる自己推薦

私が弊チームのキャプテンとして実施した業務を次の4つ紹介する。

- I.仕様作成
- II.計画立案
- III.タスク管理
- IV.計画の見直し

I. 仕様作成

チーム目標「同盟戦で主戦力となって活躍」(1)達成のため、24年度プロジェクト方針会議の中でロボットの仕様を話し合った。その結果、トラブルなく走り撃てるロボット(1)を目指すこととした。仕様を満たすため育成期間の確保を重視し、工数の不足が予想されていたメカ設計の変更を最低限とした。強化素材ハンド部は稼働できなくても目標達成は可能であるため、能力が未知数な新規加入者に対応をお願い(2)した。

II. 計画立案

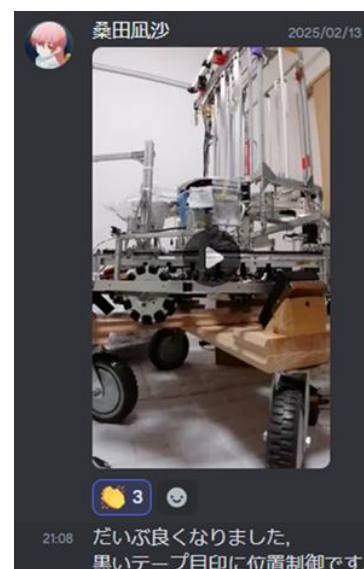
22,23年は計画に大幅な遅延が発生したため、今年度は計画立案の前に計画と実績の差異を確認した。詳細設計の計画を毎年、1か月としていたが、実績は2か月かかっていた(下図22,23実績参照)。設計者にヒアリングしたところ、詳細設計の時間が短く納期遵守が難しい(4)ことが判明したため、今年度の詳細設計期間は2か月とした。

メカタスクの割振りは各機構に1名とし、設計者の担当範囲が分かりやすい(2)ようにした。また、各機構を見る負担が大きく見切れていなかったことがヒアリングの中で判明していたため、各種機構を組み合わせる俯瞰してみる担当者を2名とした。

	8	9	10	11	12	1	2	3
22 計画				構想 DR1 (構想審査)	詳細 DR2 (外部仕様審査)	製造 DR3 (詳細設計審査)	組立・実装	大会本番 検証・調整 DR4 (評価結果審査)
22 実績				構想 DR1 (構想審査)	詳細 DR2 (外部仕様審査)	製造 DR3 (詳細設計審査)	組立・実装	大会本番 検証・調整 DR4 (評価結果審査)
23 計画	構想 DR1 (構想審査)	外部仕様検討 要素設計 DR2 (外部仕様審査)	内部設計 要素設計仕上げ 全体ASSY設計 DR3 (詳細設計審査)	製造 (一部は先行組立) 基本となる足回りなど		組立・実装 DR4 (評価結果審査)	最終調整 大会準備	大会本番
23 実績	構想 DR1 (構想審査)	外部仕様検討 要素設計 DR2 (外部仕様審査)	内部設計 要素設計仕上げ 全体ASSY設計 DR3 (詳細設計審査)	製造 設計完了		組立・実装 部品製造完了 公式提供物 取付設計完了 DR4 (評価結果審査)	検証・調整	大会本番
24 計画	外部仕様検討 DR2 (外部仕様審査)	内部設計 要素設計仕上げ 全体ASSY設計 DR3 (詳細設計審査)	製造・組立 DR3 (詳細設計審査)	実装 メカ完了	評価・調整 回路完了	練習会・調整 全完了		大会本番

III. タスク管理

昨年度は週報を書くようにしていたが形骸化してしまっていたため、今年度のタスク管理は各担当で **Discord** のチャンネル分けを実施し、チャンネル内で進捗報告する運用とした。キャプテンが実施していたメンバー間のリスペクト風土を醸成するための **Discord** へのリアクションボタンを複数追加により、進捗がある度に報告、ポジティブなリアクションの循環が生まれ進捗確認⁽³⁾が容易にできた(右図)。

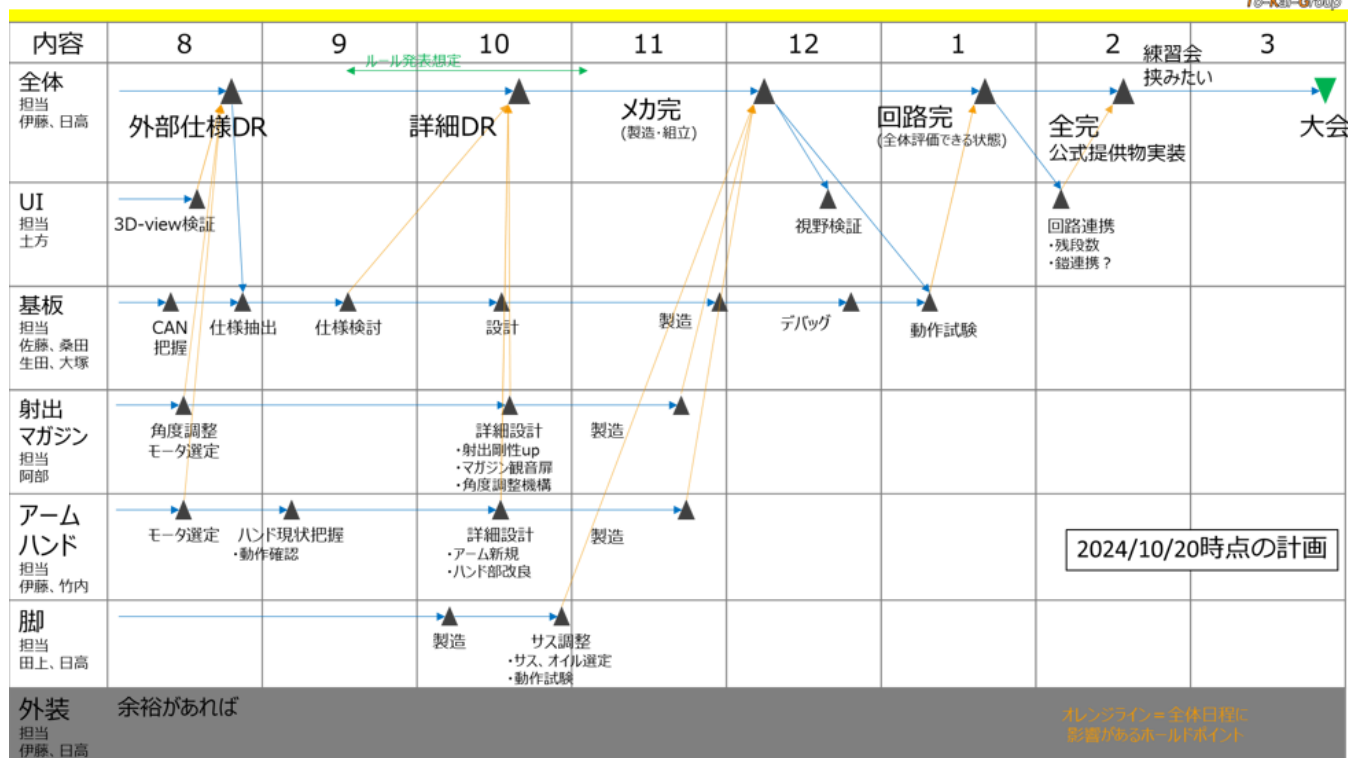


IV. 計画の見直し

詳細設計が計画通りの 10 月中旬に終わらないことが 9 月末に判明したため、詳細設計 DR の中で日程計画を全員で審議し、メカ製造完了の期日を 1 月初旬までに延期⁽⁵⁾、⁽⁶⁾した。延期に伴い、製造の時間や調整の時間が減ってしまうため外装や CoRE 全体に呼び掛けて練習会を実施する計画を見送りとした。

また、12 月時点で公式提供物やカメラ等の取り付け設計のような細かいメカタスクが新規加入者に負荷が偏っていることが判明したため、キャプテンにメカ設計者の新規勧誘をお願いし、担当を再振り分け⁽⁷⁾した。

スケジュール



Scramble-CoRE¥2025¥01_企画・構想¥01-2_スケジュール_241020.pdf

→詳細設計が終わっていない。メカ完を1月初旬までとし、回路、全完日程を後ろ倒しにする。練習会 は対応しない方針にする。

2. チームによる推薦

記入者役職:監督 記入者氏名:伊藤 万春

私は以下の理由を元に佐藤郁弥氏を優秀 PM 賞に推薦する。

- (1)全体の進捗を確実に把握し、チーム全員に共有している
- (2)適切なタイミングで計画を修正している。

(1)について、

毎週各メンバーの進捗をヒアリングし、Discord チームチャット内で共有するなど、メンバー全員が全体計画の進捗を共有できる体制を構築していた。また、Discord チャット内では、成果に対してお互いに褒め合う風土も浸透させ、心理的安全性の高いチームになるよう尽力していた。

(2)について、

大きく遅延している場合、メンバー合意のもと、早い段階で機能を絞る決断をするなど明確な計画修正を行い、着実に実行していた。特に初年度や前年度はギリギリまで粘った結果、メンバーの負荷が高くなり機体完成が危ぶまれる事態が発生していた。佐藤氏の適切な計画修正により、本年度は仕事や家庭と両立しながら活動できている。

上記のような姿勢は、プロジェクトマネージャーとして模範となるものであり、優秀プロジェクトマネージャー賞に相応しいと考える。